

KAWASAKI TAKATSU R. C.

第2590地区第3グループ 川崎高津ロータリークラブ
2015~2016

世界へのプレゼントになろう

事務局：〒213-0041川崎市高津区溝口2-14-1むらたビル3F
 例会場：ホテルKSP TEL 044-819-2211
 例会日：毎週木曜日 12:30 / 毎月第4週 18:00
 会長：杉崎 晴男
 幹事：飯尾 光正

RI会長テーマ

『世界へのプレゼントになろう』



R. I. 会長
K. R. ラビンドラン
(スリランカ)

点鐘・開会宣言・歌唱

第33回(通算1461回)「それでこそローター」

第34回(通算1462回)「四つのテスト」

報告

* ご報告

曾我直樹会員

異動のため3/25付で退会することになりました。
3年間、ロータークラブを通じて、経営者の視点を学ぶことが出来、勉強になりました。ありがとうございました。



第17例会記録

【第33回 3月17日(木)】

卓話「日本の文化と神道について」

溝口神社宮司 鈴木敬一様

日本は周囲を海に囲まれた縦に細長い海洋国家であり、国土の70%が山です。日本列島の南北の総延長距離はおよそ3千km。四季の変化に富み、気候も場所によって様々です。神社神道は、こうした日本の国土の中で「敬神崇祖」を基として日本民族の生活の中から自然発生的に生まれた道徳、倫理、秩序などから構築された考え方です。「敬神」は大自然の神々に対して「崇祖」は祖先の御霊に対して崇拝をするという意味です。

日本ではしばしば神道は宗教であるのか、進行儀礼かといった議論がされます。神道には宗教としての条件が極めて希薄で、自然や祖先に対する畏敬の念を重要な要素として自己を完結させ、人格を向上させる為の一つの道であり、国民道徳の基盤と考えられています。

日本は多神教国家ですが、全ての神々をまとめて中心となる神は天照大神という女神です。この女神は優しく慈悲深い方で「御光うるはしく国内に照り輝く神」と古事記に記されています。これは世界の他の国々の神話や宗教の最高神の多くが、戦いや知恵に秀でた男性神であることと大きく異なる点です。天照大神は伊勢神宮に祀られています。このお社は式年遷宮といって1300年前から20年毎に上質の木材で建て替えられ、神様の住まいから調度品に至るまで全て同一の物が新しく作り替えられています。

また、国家元首の地位にある天皇は、この天照大神の御子孫で、日本建国を成し遂げた初代の天皇から125代目のご子孫にあたり、その間2676年に渡って男系による万世一系の皇統が保たれています。この男系は、それが初代の神武天皇以来の約束事であり、伝統です。ルールを決めることにより、無益な争いを避けてきたわけですね。

神武天皇の建国が実現した理由として三つの要因が考えられています。一つは、壮大な「ビジョン」、「八紘を掩(おお)いて宇(いえ)と為す」という、国中を一つの屋根の下に家族として住まわせるような国にしたいという理想を持っていたのです。第二に、それを現実とするための稲作の「技術」を持っていたと言われていました。最後に「信仰の自由」「精神の自由」。決して自分達が信仰する神だけを押しつけるようなことはなさらなかった。これが、世界と日本の建国物語の決定的に違うところですね。世界の神話というものは、もう遠い昔に神話と歴史の世界は断絶してしまっていますが、日本においては今日まで連続として受け継がれています。

世界の国家や宗教を見るとときに、二つに大別できると思います。一つは自然発生的に生まれた宗教、国家。もう一つは人工的に生まれた宗教、国家。自然発生的な国や宗教は日本、神道です。人工的な国家は、アメリカ、中国や北朝鮮。自然発生的な国家に共通するものは、多神教、自然崇拝的で祖先崇拝を含む宗教です。つまり山にも川にも海にも神は宿る。自然がそのままに畏れ憚る存在であるのです。また、日本では「節句」といって、一年を五つの季節に分け、その折々に祖先の御霊に、人々の健康等を祈る年中行事があります。その祭りの象徴となるものは、桃や菖蒲といった自然の植物、季節の花です。このように日本の四季、自然と信仰というものを実にうまく取り入れて、日本人の健康な生活、稲作というものの発展というものを考えていたわけですね。

以上述べたような日本の風土や感性が、神道を通して日本人の仕種や文化や日本の国柄である「国体」を創り出してきたと思っています。

【第34回 3月24日(木)】 移動例会 花見夫人デ-「屋形船」

桜の開花と共にやってきた春めいた暖かさの中、今年の花見ご夫人デ-は昨年同様屋形船に乗って隅田川を下りました。三分咲きではありましたが、船から眺める桜やライトアップされたスカイツリー、ビル夜景や鮮やかな東京郊外は格別な美しさでした。

今回は39人の会員、ご夫人、ご家族のご出席をいただき小さなお子様たちが楽しそうにカクを熱唱する姿も微笑ましく感じたとても和やかな家族会となりました。

お客様

細谷やよい様 飯尾智子様 菊池昭子様 小山智恵子様
三富瑠子様 森 由美様 鈴木慶子様 相馬順子様
谷野ありさ様 福住豪人様 福住領人様 細谷 桂様
小山泰河様 小山泰樹様 田名綱康代様 谷野真央様
付 惟様 アンドリュ-ミス様

祝慶事

《会員お誕生日》 濱田肇会員 3/6 加藤昌紀会員 3/8

《ご夫人お誕生日》

谷野ありさ様1/10 森 由美様1/15 玉城真由美様1/16
石川佳代様1/18 三富瑠子様1/29 持田 静江様2/1
安原京子様2/10 三家昭子様2/25 細谷やよい様3/6
喜多川あい様3/27

《会員入会記念》 森正一会員3/5 杉崎晴男会員3/28

《結婚記念日》

福嶋徹・千恵子様1/20 喜多川亮平・あい様2/11
谷野功明・ありさ様2/21 持田裕弘・静江様2/22
三家護・昭子様 2/24 飯尾光正・智子様3/8
菊池幸治・昭子様3/2



※花見ご夫人デ-に際し、ご祝儀を頂戴しました。

(順不同、敬称略)

杉崎 晴男 飯尾 光正 福嶋 徹 細谷 和彦 菊池 幸治
石川 演慶 福住 亮雄 三富 末雄 田中 薫 鈴木 良一
濱田 肇 森 正一 志村 正夫 田名綱成彰 相馬 元
小山 泰介 喜多川亮平 谷野 功明 加藤 昌紀 本藤 光隆

ニコニコネーションメッセージ

* 3/17(順不同、敬称略)

杉崎 晴男 鈴木様、今日は卓話を楽しみにしております。
三家 護 卒業式のシーズンですね。明日、高津小学校・高津中学校の卒業式だそうです。良き飛び立ちを期待します。

菊池 幸治 協力を致します。
飯尾 光正 鈴木宮司様、卓話を宜しくお願い致します。

出席報告

例会日	会員数	出席義務者	出席数	欠席数	本日出席率	前々回欠席数	MU	前々回修正
3月17日	32	31	16	15	52%	10	8	94%
3月24日	32	31	19	12	61%	11	8	90%

寄付報告

	月日	件	合計	累計	目標額	達成率
R財団	3/17	13	13,000	137,000	185,600	74%
	3/24	0	0	137,000	185,600	74%
米山記念奨学会	3/17	13	13,000	447,000	640,000	70%
	3/24	0	0	447,000	640,000	70%
ニコニコBOX	3/17	13	23,000	653,000	1,200,000	54%
	3/24	0	0	653,000	1,200,000	54%
フレンドリーBOX	3/17	14	15,000	461,000	400,000	115%
	3/24	0	0	461,000	400,000	115%

※R財団目標額：会員数×120円×116円 米山目標額：会員数×2万円

※R財団は3月から50%（レ-ト116円で5,800円）×32人=185,600円に達する迄「リ-」を集めます。(12月末迄のR財団寄付総額 301,000円)

クラブ会報委員会 曾我直樹委員長 三富末雄副委員長 本藤光隆委員
石川演慶委員 月岡涼吾委員 福嶋 徹委員
《編集担当》 月岡涼吾 三富末雄

